

雇用を守り、暮らしを守り、地域を守る

<http://www.togikai-minsyuto.jp/> 都議会民主党 検索

発行 都議会民主党政策調査会

〒163-8001東京都新宿区西新宿2-8-1  
Tel.03-5320-7230 Fax.03-5388-1784  
E mail:seisaku@togikai minsyuto.jp



## 都震災関連予算と民主提出の省エネ条例案も可決!

H23年第3回都議会定例会は7月1日に終了しました。3月定例会の終了日に起きた東日本大震災より4ヶ月近くが経ったこととなりますが、今定例会では東京都の震災関連の補正予算と今後のエネルギー政策が主な議題となりました。東日本大震災は、東京に震度5強の揺れと多くの混乱を生じさせ、東京の防災対策を見直す契機となりました。都議会民主党は、東京で江戸期に起こった三連動地震による大津波やこれに続く暴風雨などの複合災害が発生していることから、過去の災害分析から被害想定を研究すべきと都に求めました。帰宅困難者対策やライフラインの耐震化、減災化対策の推進、首都圏全体での大震災への対応なども訴えました。また今回の福島第一原発事故を踏まえるならば、近い将来必ず起こると言われる東海地震による静岡県浜

岡原発事故リスクも想定した放射能対策も行う必要があると正しし、知事は三連動地震も視野に入れた新たな視点での防災対応指針を策定すると答弁しました。

都議会民主党は、災害発生時における私たちの社会の対応力の強化や防災リーダー育成などに一層取り組み、東京を災害に強い、持続可能な都市とすることをめざします。そのためにもエネルギー政策でも省エネに向けた理念を都議会から発信したいという思いのもとに省エネ条例案を提出、21年ぶりの議員提出条例案可決に至りました。皆さまには本リポートも含め私たちの政策と質疑の結果をご覧頂き、引き続き力強いご支援を頂ければ幸いです。

### 南に1000Kmの東京都。小笠原諸島が世界自然遺産に



東京都の小笠原諸島が、屋久島、白神山地、知床に次ぐ日本で4番目の世界自然遺産に登録されました。ポニブルの海に囲まれた小笠原諸島の他の地域にない特徴的な生物進化や固有の生態系の価値が、将来に引き継がれるべき世界共通のかけがえのない財産であると認められました。選考に際してはこれまでの住民参加と関係機関の協力による島の生態系を守る取り組みが高く評価されたのです。自然遺産登録により脚光を浴びる小笠原諸島ですが、登録でさらに厳しい外来種対策や観光開発などへの厳格な環境アセスメント実施が要請され、また海域公園地区の拡張や観光管理・観光業者に対する規制措置の実施も奨励されたのです。私たちに世界共有の財産との向き合い方が求められています。

### ＝都議会議員今村るか・都政アンケート＝

#### ◆都政全般についてのご意見・ご要望

Blank area for public opinion on general municipal politics.

#### ◆お困りごと、今村るかへのご意見・ご要望など

Blank area for specific concerns or requests to the council member.

都議会議員

# 今村るか



町田から人にやさしい都政を!!

◆略歴◆

1968年 8月 町田市生まれ42歳  
藤の台小、金井小、薬師中卒、  
基督教独立学園高、和光大人文学  
部人間関係学科卒。1994年町田市  
議最年少25歳初当選、連続4期。  
2007年都議補選で初当選。2009年  
7月都議選で再選。

現在、厚生委員会理事、都議会民  
主党総務会副会長、議会運営委員  
会委員、町田市視覚障害者協会顧  
問など

[www.i-ruka.net](http://www.i-ruka.net)

切手を張らずにご投函してください

**民主党**  
だからできる  
**都政改革**

都議会民主党が進めます!! 生活の安心と安全を支える都政。

## 『都議会6月議会』の様子を一部お届けします!!

### 原発の安全性は? 石原知事に見解を問う

石原知事は過去に「東京湾にも原発を」と発言し、福島第一原発事故が深刻化した3月25日にも「私は原発推進論者です。今でも」と述べています。都議会民主党は、現状では原発は東京湾はおろか、他の自治体でも新たな建設は不可能と考え、改めて原発の安全性に対する知事の基本認識を問いました。知事は、これまでの原子力行政の姿勢を反省・再考すべきと述べ、「東京湾にも原発を」発言については、「完全な管理技術を前提とすれば当然のこと」「日本の心臓部の発展を考えれば、その電力を他に依存し続けることは不合理」と述べ、また、今後の都のエネルギー戦略については、天然ガスの発電所建設に向けた取り組みと、節電の徹底を行うと答えました。

### 放射線量の測定拡充で都民の不安解消を図れ

放射線に対する都民の不安が高まる中、都議会民主党は石原知事に対し、放射線量測定箇所を増やすことなどを求める緊急要望を提出。都は放射線量測定を都内全域で実施することを発表し、4キロメッシュで100箇所程度の測定とその情報提供が続けられています。一方、高濃度放射性物質が検出された下水汚泥について、都は「周辺環境への影響はない」と答弁するばかりです。今後とも都議会民主党は都民の不安解消に向け取り組んでいきます。

### 都民・事業者と協働で帰宅困難者対策を進めるべき

3月11日東京都心部は交通機関運休でターミナル駅に多くの人が滞留、幹線道路は大渋滞を起こしました。都議会民主党は、事業者に従業員の一斉帰宅を控えるための備蓄や、正確な交通情報の入手方法、家族の安否確認方法を示す啓発事業が重要と求めました。また、より大規模な地震に備えて、安全確認された大型商業施設などでの来訪者・従業員の一時待機や交通機関による避難誘導や輸送協力ネットワークの構築、来訪者などの避難も含めた避難所の運営など、被災者の安全確保に向けたエリアマネジメントを考えるべきと訴えました。都議会民主党は、民間の帰宅困難者対応訓練と連携するなど、諸課題への対策を多くのの人々と共有し、対策を実効性あるものとしていくべきと考えています。



### 液状化の実態調査と対策を進め都民に示せ

今回の大震災による長い揺れは広範囲にわたって地盤の液状化を引き起こし、千葉県浦安市を初め、東京においても、江東区、江戸川区など湾岸地域の7区で液状化被害が報告されています。都議会民主党は、都の予測図で液状化の発生が少ないとされていた地域においても液状化被害が出ていることから、被害の実態を調査・検証の上、改めて都の液状化予測図を見直し、都民に示していくべきと訴えました。都は、新たに実施する地質調査の結果を用い、専門家などの意見も聴取しながら、来年度末を目途に予測図を見直すとしています。



### 都議会民主党提出の省エネ条例案が可決される!!

都議会民主党は震災の経験も踏まえ省エネ・CO2削減を図りながら、非常時の独立型のエネルギー源を確保し災害に強く環境負荷の少ない都市づくりが不可欠と考えます。そのため「省エネルギーの推進及びエネルギーの安定的な供給の確保に関する条例(案)」を提案。条例案は、都・都民・事業者の責務を明示し、基本理念などを定めるもので社会全般で省エネ意識の向上を図ることを目的としたものです。環境・建設委員会で可決の後、本会議では自民・公明の反対で可否同数となりましたが、議長決裁の結果可決に。21年ぶりの議員提出条例の可決となりました。



郵便はがき

1 9 4-8790

料金受取人払

町田支店  
承認

0331

差出有効期間  
平成23年8月  
20日まで  
<切手不要>

町田市本町田3549番地-3  
藤の台団地2-50-203

東京都議会議員(都議会民主党)

**今村るか 事務所 行**



お名前

( 歳)

ご住所

〒 町田市

お電話・FAX

E-mail